

エリアリーダーによる1人1台端末を活用した授業公開



神崎市立脊振中学校
エリアリーダー
西 昭縁 教諭

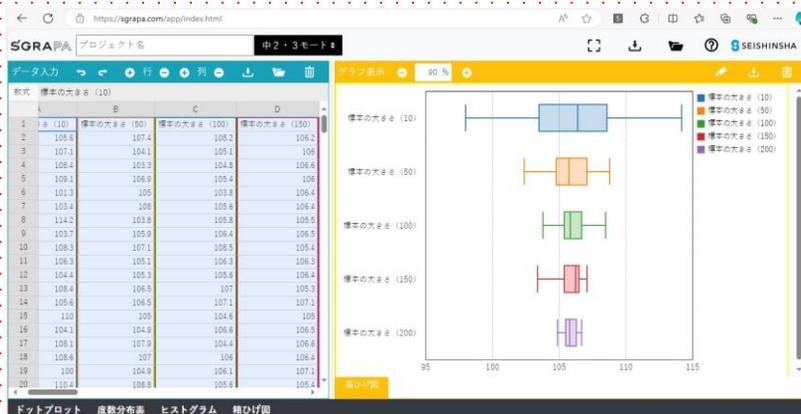
単元名：標本調査とデータの活用 中学3年 数学科

標本調査において、教師が表計算ソフト (Excel) とグラフ作成アプリ「SGRAPA」を効果的に取り入れることで、生徒が粘り強く考え、調査結果を批判的に考察し表現できた授業でした。

#グラフ作成アプリ
「SGRAPA」

【グラフの種類】

- ・ヒストグラム
- ・箱ひげ図
- ・ドットプロット
- ・度数分布表



SGRAPAとは? <https://sgrapa.com/>

ブラウザ上で動作するためインストール不要で、すぐに始められる無料のグラフ作成ソフトです。

数学以外でも、例えば、50メートル走の学校での結果等をグラフで表したい時など、様々な場面で簡単にグラフを作成することができます。

← 「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています。

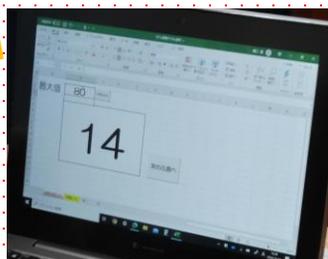
<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>



導入

1 前時の復習をする。

#Excelで簡単!
乱数取得



#電卓アプリで
正確に計算!



2 めあてを確認する。 めあて: 標本調査を正しく活用できるようになるう!

展開

3 標本の大きさが10のときの標本の平均値を複数求め、得られた値の範囲を箱ひげ図で確認する。

#Excelで簡単!
平均値を自動算出



#SGRAPAで簡単!
箱ひげ図作成



4 標本の大きさが異なる標本調査の結果を比較する。

#データ分析

個人で学ぶ



友達と学ぶ



教師と学ぶ



5 標本の大きさの大小によって、標本調査の結果がどのように変化するかを説明する。

#グラフを示して説明



#視覚的に理解



まとめ

6 「標本調査において、標本の大きさは大きければ大きいほどよい」ということについて、批判的に考えたことを友達に説明する。

7 本時を振り返る。

